

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果

中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている。

(1) 住む人を増やす (2) 来る人を増やす(3) まちづくりに参画する人を増やす(4)活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」に関しては、当機構がサブリース事業として平成26年4月から実施している「さがよかこの家」は、本年度全6室のうち空室1の状況でスタート。空室を埋め切れないまま、平成31年1月12日に医学部学生一人、2月15日に農学部学生一人の退室者があり、年度末は空き室3という状況で終了した。また、「空き家等マッチング支援事業」は主に遊休不動産オーナー向けのセミナーを開催、そこから2件のモデル事業が進展した。

「来る人を増やす」については、空き店舗対策事業と賑わいづくりイベント事業の2つの柱で行った。空き店舗対策事業のうち「戦略的商機能等集積支援事業」においては、目標3件に対して3件(かどやラーメン、そば勢、SHOKUDO 樺)が採択され開業した。「商業者育成事業」に関しては、整体、ネイルサロンの2店舗が CAST に入店し、一年間の実践トレーニングを経て、2店舗とも中心市街地に出店を果たした。

次に賑わいづくりイベントについては、レギュラー化している各イベントについてそれぞれにブラッシュアップを図り、成果を得た。ただ、年度の目玉企画と位置付けていた「玉屋協働プロジェクト」が進展せず、次年度以降に持ち越す結果となった。

施設管理に関しては、肥前さが幕末維新博覧会の事業に伴って、わいわい!!コンテナ2のチャレンジコンテナをオランダカフェとして貸し出し、代替施設としてチャレンジハウスを656芝生広場に設置した。しかしコンテナからの距離的な不便もあり利用率が伸びなかった。しかし維新博覧会の影響もあって、コンテナの来館者数は増加した。一方、一昨年から利用者が増大した656広場に関しては、本年も順調な伸びを見せた。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、肥前さが幕末維新博覧会に関連したさがクリークネットの動きが顕著であり、当機構としてもわいわい!!コンテナ2との関連で連携を図った。

「活動の強化」については、①事業のスクラップ&ビルド、②プレイヤーの発掘・育成・支援、③既存事業所との協働、④収益事業の新規立ち上げを計画していたが、十分な成果を得るに至っていない。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、新しい切り口で街なか情報や人の動き、物件情報等を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。発行部数は10,000。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	2,853
	ホームページ運営事業 昨年に引き続き、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施した。また、街なかかわらばん版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 1人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	435

	電波媒体による情報発信 ぶんぶん TV の「街なか情報」出演や FM 佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 佐賀市。コミュニティ FM は旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	150
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業		(事業費合計)	3,438
② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか居住等事業 シェアハウスの管理事業。佐賀大学都市工学系男子学生1名、農学部、都市工学系の女子学生2名、医学部男子1名、そして社会人女性1名が入居した。また同じ建物1階店頭部分の街づくり拠点施設さが恵比須ステーションを管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 来街者 (E) 5名	3,635
	空き家等マッチング支援事業 街なかの物件所有者に遊休不動産活用投資への気づきを与え、リノベーション事業を推進する。 空き店舗・空き家活用セミナーの開催及びリノベーションモデル事業。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 物件所有者 (E) 不特定多数	948
	わいわい!!コンテナ2管理運営事業 昨年度に引き続き、「わいわい!!コンテナ 2」を「人と人を繋ぐ」「人と仕事を繋ぐ」拠点施設として確立させることを目標に業務に取り組んだ。肥前さが幕末維新博覧会の影響もあり、来館者数が大幅に伸びた。	(A) 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) コンテナ来場者 (E) 52,501 人	11,775
	まちなか交流広場管理事業 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。利用者の増加を目標にきめ細かな広報活動に取り組み、成果を上げた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 46,811 人	2,874
	街なか産学官連携支援事業 佐賀大学及び西九州大学による地(知)の拠点事業を効果的に実施するため、佐賀大学の拠点	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 市民 (E) 不特定多数	4,406

	を設置し、地域貢献の取組施設として活用することを継続して支援した。西九州大学に対しては広報支援等の支援を行った。			
	佐賀商工ビル管理事業 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D)市民 (E) 不特定多数	3,381
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			27,019
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地内の26か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させる事業。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2人	(D)サービス券利用登録店舗での利用客 (E)不特定多数	4,345
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			4,345
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	未実施			
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			0
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	バルーンフェスタサテライトイベント インターナショナル・バルーンフェスタの開催に合わせて、656広場を中心にイベントを実施した。	(A)平成30年10月30日～平成30年11月4日 (B)中心市街地 (C)6名	(D)来街者 (E)3,493人	1,966
	BOOK マルシェ佐賀2019事業 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A)平成30年10月13日、14日 (B)呉服元町 (C)3人	(D)出店者・来店者 (E)不特定多数	1,181
	ほとめきぶらり旅事業 少人数による街なか再発見の旅を実施した。	(A)平成30年10月21日 (B)中心市街地内 (C)2人	(D)県内外の応募者 (E)22人	447

	佐賀北高書道部揮毫会 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国書道コンクールで優秀な成績を上げ続けている佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 平成 30 年 5 月 20 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) 北高書道部及び観客 (E) 170 人	196
	肥前さが幕末維新博覧会関連事業 肥前さが幕末維新博覧会の賑わいを佐賀市中心市街地においても広げることを目的とした取り組み。イベント事業、モニュメント照明改善、広報活動等を実施した。	黒田チカ街歩き (A) 平成 30 年 12 月 20 日 (B) 中央大通り (C) 2 人 新春ぶらり旅 (A) 平成 31 年 1 月 12 日 (B) 中央大通り (C) 2 人	(D) 県内外の応募者 (E) 47 人	6,529
	佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント 今年度は 49 日間の開催となった。各商店企画のイベントのほか 656 広場では「和楽器演奏」「伝承芸能祭」等を実施した。	(A) 平成 31 年 2 月 11 日～3 月 31 日 (B) 呉服元町、白山 (C) 2 人	(D) 来訪者 (E) 41,550 人	1,857
	呉服元町賑わい創出事業 佐賀幕末維新博覧会で賑わいが出てきた呉服町周辺の賑わいを継続するため、656 広場及び南側芝生広場を活用したイベント案を募集した。(株)パロンより応募があり採択され、延べ 19 日のイベントが実施された。	(A) 平成 30 年 11 月 30 日～平成 31 年 2 月 28 日 (B) 656 広場 (C) 2 人	(D) 市民 (E) 1,284 人	384
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			12,561
⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			0
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業	唐人町緑道管理事業 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A) 通年 (B) 唐人二丁目 (C) 3 人	(D) 地域住民及び緑道利用者 (E) 不特定多数	1,223

	松原参道管理事業 松原神社門前の空を景観上及び安全性確保の観点から芝を張り、南北 2 か所の芝生広場において日常の憩いの場づくり、イベント時の街なか案内所、休憩所として管理した。地元のまちづくり団体等の利用も増加した。	(A) 通年 (B) 新馬場通り パーラー123 跡地、宮地商事跡地 (C) 3 人	(D) 市民 (E) 不特定多数	5,251
	街なか緑地広場管理業務 旧コンテナ1撤去後の広場の施設管理とイベント企画を担当している。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1 人	(D) 地域住民及び緑地利用者 (E) 不特定多数	904
	⑥ 中心市街地公共空地等の管理事業			7,378
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
	⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			0
⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
	⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業			0
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	さが桜マラソンランナーズナイト さが桜マラソンの出走者をもてなすイベント。ゲストを招いてのトークショーや佐賀の特産品が当たるお楽しみ抽選会を開催し、フードコーナーも設置した。	(A) 平成 30 年 3 月 23 日 (B) 呉服元町 (C) 2 人	(D) さが桜マラソン出走者及び地域住民 (E) 500 人	1,527
	得するまちのゼミナール 商業者が講師となって、専門知識やプロならではのコツ等を無料で提供する少人数制の講座。商店と消費者のコミュニケーションの質向上を狙ったゼミ。	(A) 【第3回】 初回説明会:平成 30 年 6 月 22 日、第 2 回説明会:平成 30 年 7 月 16 日、直前説明会:平成 30 年 9 月 5	(D) 地域住民及び来街者 (E) 不特定多数	3,190

	<p>日、ゼミ開催:平成30年9月27日～10月26日 結果報告会:平成30年11月29日 【第4回】 事前説明会:平成30年12月11日、直前説明会:平成31年2月8日、ゼミ開催:平成31年2月19日～3月10日、結果報告会:平成31年3月26日 (B)商工会館ビル、肥前通仙亭、中心市街地 (C)2人</p>		
<p>エスプラッツ誕生祭 エスプラッツビルの再開を記念して実施している恒例イベント。佐賀商工ビル南側でははたらく車展示、水鉄砲合戦、スイカ割り等。白山いきいきアーケードでは、こども縁日として射的、スーパーボール。メインイベントとして大ビンゴ大会等を実施した。</p>	<p>(A)平成30年8月4日、5日 (B)エスプラッツ南側道路、白山いきいき (C)5人</p>	<p>(D)祭参加者、観客 (E)不特定多数</p>	960
<p>さが街なか図書館 市街地の専門店14事業所に対して、当店の専門書をベースにしたミニ図書館を開設。本年度は図書館司書などが本の紹介文を書き、ピピンが取りまとめてFBで発信する等行った。</p>	<p>(A)通年 (B)中心市街地全域 (C)2人</p>	<p>(D)来街者 (E)不特定多数</p>	575
<p>第12回楠の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。第12回を迎え、天気にも恵まれ、昨年を超える来客があった。</p>	<p>(A)平成31年3月16日、17日 (B)八幡神社 (C)7人</p>	<p>(D)県内外から出店の60店、及び来店者 (E)2,059人</p>	1,729
<p>公募型空き店舗対策事業 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行う事業。本年の目標4店舗に対し、3店舗が合格、そのうち3店舗が目標を達成した。</p>	<p>(A)通年 (B)中心市街地内 (C)2人</p>	<p>(D)中心市街地で出店を希望する者 (E)不特定多数(審査の結果出店に至った者3店舗)</p>	14,689

	<p>商業者育成事業 独立開業を志す起業家に、1年間の実践トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。本年は2店舗が入店し、2店舗とも中心市街地に出店した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 唐人一丁目 (C) 2人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 出店者2店舗</p>	8,519
	<p>佐賀市街なかバル事業 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。本年は56店舗が参加した。</p>	<p>(A) 平成30年11月21日、22日 (B) 中心市街地内 (C) 6人</p>	<p>(D) 市民 (E) 1,300人</p>	1,411
	<p>キッズダンスコンテスト 佐賀城下ひな祭り期間中に開催するダンスイベント。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。本年度は19チームが参加した。</p>	<p>(A) 平成31年3月30日 (B) 656広場 (C) 2人</p>	<p>(D) 出場者及び観客 (E) 670人</p>	462
	<p>街なか招待券事業 インターナショナル・バルーンフェスタ会場に駐車したお客様に対し、中心市街地の佐賀バルーンミュージアム及び大隈重信記念館の入場招待券を配布するほか、佐賀の物産が当たる抽選券を配布する等、市街地の活性化を図った。</p>	<p>(A) 10月30日～11月4日 (B) 中心市街地 (C) 2人</p>	<p>(D) 車で会場を訪れる気球大会の観客 (E) 427人(抽選会への参加者数)</p>	923
	<p>銀天夜市協賛事業 53回を数える商店街の恒例イベント。主に656広場で実施するイベントの企画実施を担当。</p>	<p>(A) 7月7日～8月28日(各土曜日) (B) 中心市街地 (C) 2人</p>	<p>(D) 市民 (E) 1880人</p>	260
	<p>えびすビアパーティー 佐賀の恵比須像とえびすビールを関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図るイベントを実施した。</p>	<p>(A) 平成30年7月25日 (B) 656広場 (C) 6人</p>	<p>(D) 市民 (E) 参加者 950人</p>	1,060

	さがんビアフェスト 地元飲食店が提供する美味しいおつまみとクラフトビールが味わえるビアガーデンイベント。日本バーテンダー協会佐賀支部が主催。	(A) 平成30年10月8日 (B) 656広場 (C) 1人	(D) 市民 (E) 参加者 600人	1,015
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			36,321
⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	入店誘導促進事業 集客力のある事業所に転貸を行い、中心市街地の賑わいづくりを図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者 (E) 転貸者2件	1,506
	古賀ビル管理事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者及び建物所有者 (E) IT技術を習得したい不特定多数	2,147
	⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			3,653
⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん缶太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	928
	本部会計事務費 人件費や租税公課、交際費等NPOの活動に必要な補助的経費の管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	236
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業		5,110	

(2)その他の事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額(千 円)
① 駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	19,670
	佐野駐車場事業 駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,186
	① 駐車場業		20,855
② 不動産仲介 事業	未実施		0